

報道関係者各位

令和5年2月10日

山梨県リニア未来創造局

リニア未来創造・推進課 課長 鎌田 秀一

電話番号 055-223-1664(内線 1304)

## 航空リモートセンシングによる「共通状況図」を活用した 大規模災害発生時の机上演習を実施

【株式会社テラ・ラボ】

### 第3期 TRY!YAMANASHI! 実証実験サポート事業

山梨県（知事：長崎幸太郎）が実施している、最先端技術やサービスを有するスタートアップ企業等に伴走し、山梨県全域を対象にした実証実験を全面的にサポートする「第3期 TRY!YAMANASHI! 実証実験サポート事業」において、採択された7事業者のうちの1つである「株式会社テラ・ラボ」は、航空リモートセンシング等により「共通状況図（※）」を作成し、大規模災害（水害）発生時の机上訓練を中央市、市川三郷町、富士川町とともに2月14日（火）にオンライン形式で実施します。

実証の様子、参加者の声などをご取材いただけますようお願いいたします。

（※）共通状況図：固定翼機及びドローン等を活用し、河川図、道路・線路図、住宅地図、地形情報等を重ね合わせた地図情報。

#### 1 事業者

株式会社テラ・ラボ

(<https://terra-labo.jp/>)

本社：愛知県春日井市

代表：代表取締役 松浦 孝英

概要：長距離無人航空機による広域災害システムの研究開発を行うスタートアップ

TERRA LABO



#### 2 実証実験の内容

釜無川及び笛吹川における大規模災害（水害）を想定し、共通状況図を活用して避難誘導の検討、避難所対応、物資搬送、孤立集落支援等、初動体制の机上訓練を実施。

（1）実施日時 2月14日（火）13：15～15：00

（2）実施場所 山梨県庁防災新館4階412会議室（甲府市丸の内一丁目6-1）

※中央市、市川三郷町、富士川町はオンラインにて参加

詳細は、別添リリース資料をご参照ください。

■「TRY!YAMANASHI! 実証実験サポート事業」の最新情報は、やまなし未来創造インフォメーションサイトをご確認ください。

[https://www.pref.yamanashi.jp/try\\_yamanashi/support.html](https://www.pref.yamanashi.jp/try_yamanashi/support.html)

未来創造インフォ

Click



【報道関係者からのお問い合わせ先】

山梨県 リニア未来創造局 リニア未来創造・推進課 担当：齊藤

電話：055-223-1363（内線1324） メール：[saitou-zfm@pref.yamanashi.lg.jp](mailto:saitou-zfm@pref.yamanashi.lg.jp)

令和5年2月10日

報道関係者各位

株式会社テラ・ラボ  
広報企画室

航空リモートセンシングによる「共通状況図」を活用した  
大規模災害発生時の机上演習を実施  
第3期 TRY!YAMANASHI!実証実験サポート事業

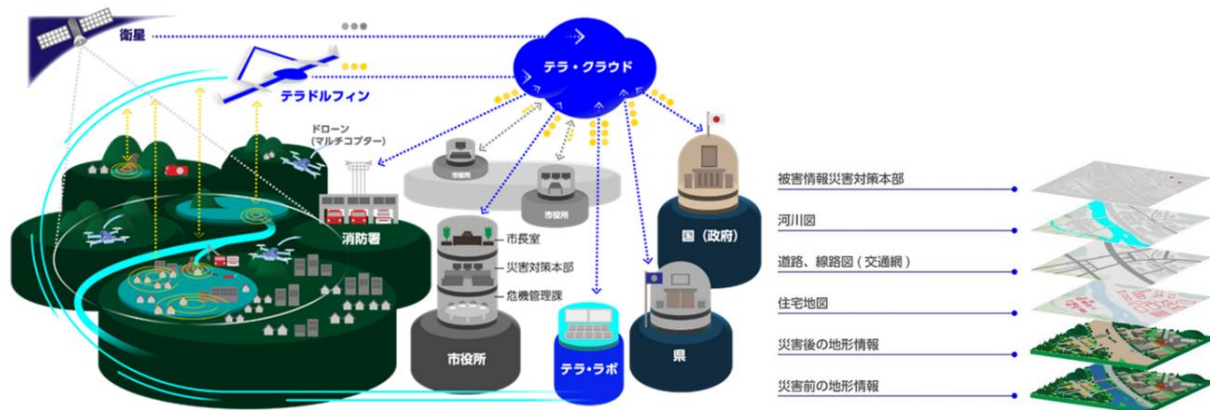
日時：2023年2月14日（火）13:15-15:00

場所：山梨県防災新館4階412会議室 甲府市丸の内1-6-1

株式会社テラ・ラボ（本社：愛知県春日井市、代表：松浦 孝英）は、「第3期 TRY! YAMANASHI! 実証実験サポート事業」に採択され、この度2月14日（火）に山梨県、および中央市、市川三郷町、富士川町のご協力のもと、当社が山梨県の富士川を対象にモーターグライダー（翼長16mの有人機）と小型マルチコプターにより計測し、作成した「共通状況図」の有用性と利活用に関するオンライン机上演習を実施します。

共通状況図（Common Operation Picture = COP）とは、災害発生時に人が近寄ることのできない場所を含めた広域の被災情報を包括的、網羅的に収集し、災害規模の早期把握と多組織間で一元的に共有することで、避難、捜索、救助等初動期の意思決定の支援や組織間の情報共有や相互支援の円滑性の向上に資することが期待されます。

今回検証に用いる共通状況図は、航空リモートセンシングを活用して取得したデータを高速解析してクラウドGIS上に統合し、第一報として複数組織での同時運用が可能な共通状況図（オルソ画像）として提供します。なお、今回は平時における演習のためデータは事前に計測したものを使用します。



全体像

共通状況図（Common Operational Picture）  
のイメージ

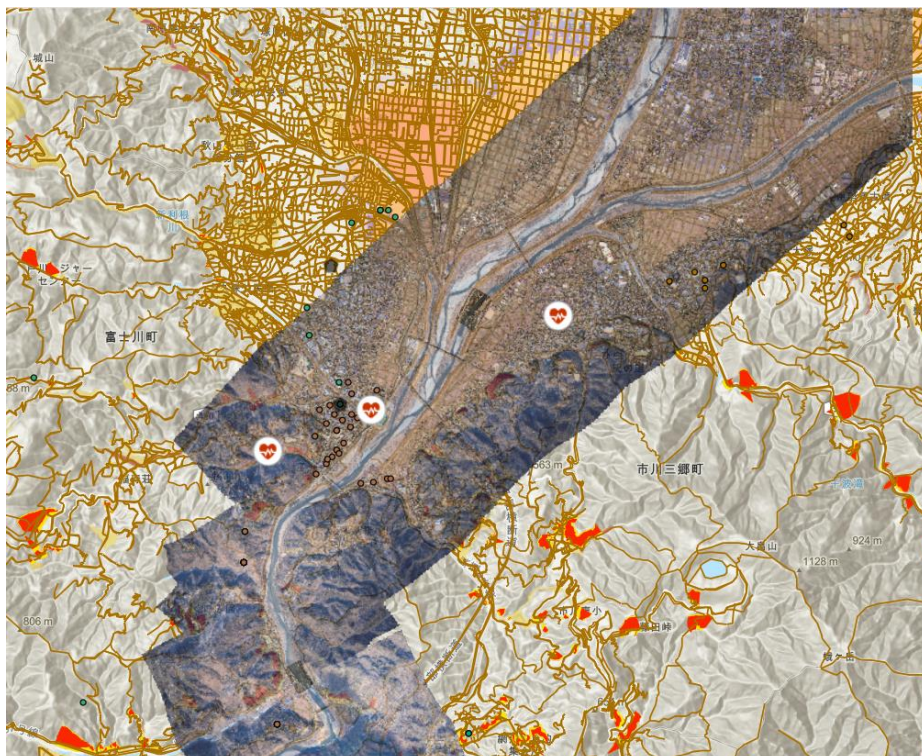
データ計測と共通状況図の概念

集中豪雨や土砂災害、噴火など自然災害が広域で複合災害となるケースが見られる中で、この共通状況図の迅速な解析・提供を行います。

山梨県は、関東において大動脈といえる一級河川が「富士川」「多摩川」「相模川」と三つ存在し、中でも、富士川水系は急流河川で家屋倒壊や流失災害の影響があり、これまでも様々な取り組みがなされており、今回、山梨県および中央市、市川三郷町、富士川町に頂いた検証機会を通して、共通状況図の災害発生初動期における有用性を検証し、行政の皆様の速やかな意思決定と円滑な連携、住民の皆様の早期の安全と生活再建に資する被災情報の効果的な提供に向け一層取り組んでまいります。



今回データ計測に使用した資機材



今回の演習で使用する共通状況図

連絡先：株式会社テラ・ラボ 広報担当：稲垣

〒487-0023 愛知県春日井市不二ガ丘 3-28、050-3138-1612（代表）

<https://terra-labo.jp> [media@terra-labo.jp](mailto:media@terra-labo.jp)